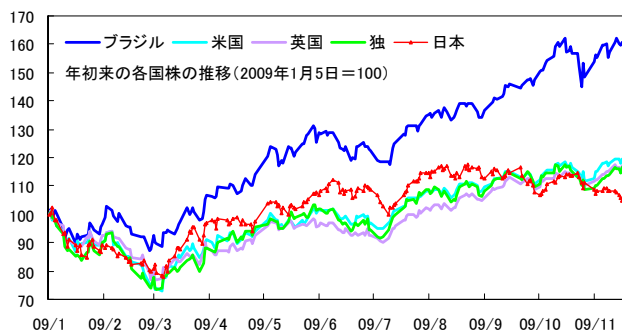


リスク選好とファンダメンタルズを反映した株式市場

✓ 投資家のリスク選好の高まりとファンダメンタルズの改善を年初来の株価は反映。

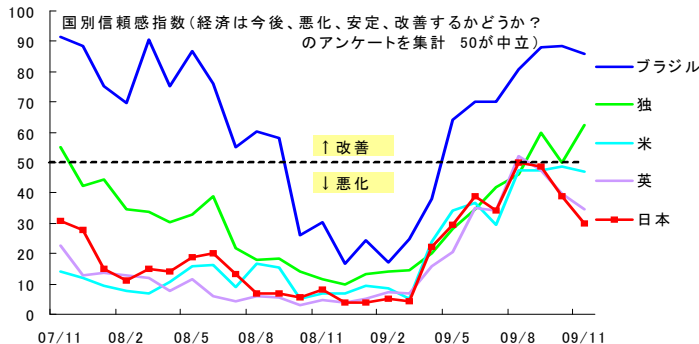
年初来、主要株価が上昇傾向にあります。中でも特に目を引くのはブラジル株に代表されるエマージング諸国株の高騰です。この背景の一つは投資家のリスク選好の高まりが挙げられます。他方、日本株はブラジル株はもとより欧米諸国株と比較しても出遅れ感が目立ちます(図表①参照)。一般的に株価は6ヶ月から1年程度先の経済環境を反映する先行指標といわれていますが、図表②を見ると世界の投資家の日本経済に対する信頼感は低下方向にあります。日本株のアンダーパフォーマンスはこれを反映しているのかもしれませんが。一方、ブラジル経済の信頼感の高さや(図表②参照)、鉱工業生産の上昇(図表③参照)と株価の高騰はリンクしています。このことを考えると、現在の株価はリスク選好が高まる中、将来のファンダメンタルズの方向性を素直に反映しているとも見てとれます。

【図表①】



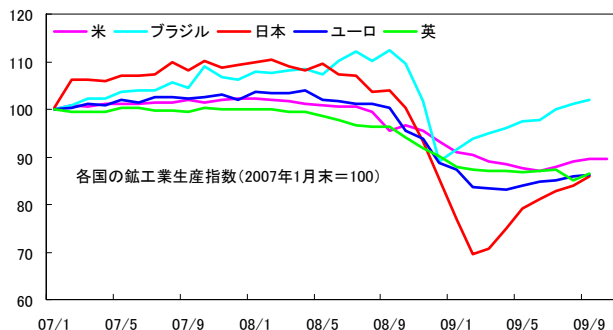
出所:ブルームバーグ

【図表②】



出所:ブルームバーグ

【図表③】

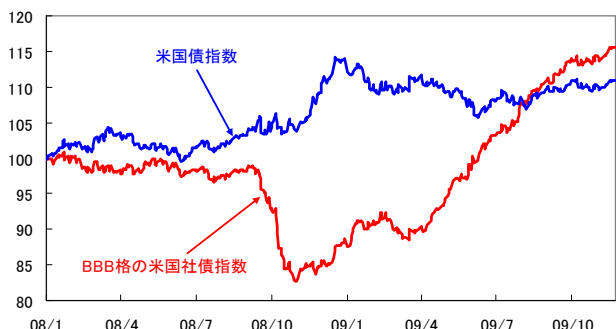


2007年1月末=100 出所:ブルームバーグ

図表④は安全資産の代表である米国債指数と、よりリスク性の高いBBB格の米国社債指数の推移です(2008年、年初=100)。昨年の9月中旬以降、金融危機が急速に進んだことを受けて、リスク性資産のBBB格社債指数は急落する一方、安全資産の国債指数は急騰しました。足元は、金融危機の収束感と共に、とうとうBBB格社債指数のパフォーマンスが米国債指数を上回り始めました。このことは投資家のリスク選好改善の証左といえます。

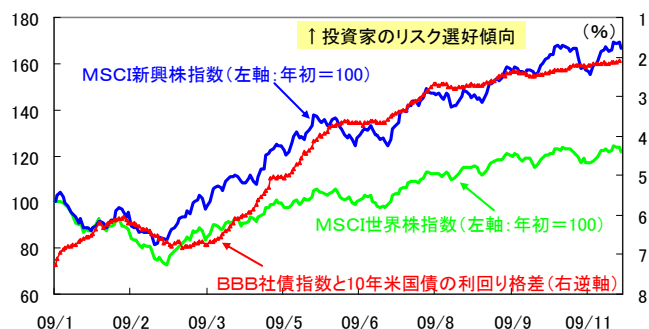
格付けの低い社債指数利回りと同格の国債指数利回りの格差が縮小する局面は、投資家のリスク選好が高まっている時期ともいえます。この市場心理を反映するように、リスクの度合いがより高いMSCI新興株指数は、BBB社債指数と10年米国債の利回り格差の縮小に連れ高となっています(図表⑤参照)。一方、MSCI新興株指数に比べるとリスクの度合いが低いMSCI世界株指数は控えめな上昇に留まっています。

【図表④】



出所:メリルリンチ・グローバル指数

【図表⑤】



出所:MSCI メリルリンチ・グローバル指数

ご留意いただきたい事項

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。
- 投資信託は値動きのある資産を投資対象としており、基準価額は変動しますので、これにより投資元本を割込むおそれがあります。ファンドによって投資対象資産や投資規制、投資対象国などが異なるため、リスクの内容や性質が異なります。また、投資信託のお申込時、保有期間中、およびご換金時には費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料に記載されている各指数、統計資料等の著作権・知的財産権その他一切の権利は、各算出先、公表元に帰属します。
- 当資料に記載されている内容は発行日現在のものであり、今後予告なく変更される場合があります。投資に関する最終決定はお客様ご自身でご判断ください。
- 当資料のグラフ・数値等は過去の実績であり、将来の市場環境の変動や投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第369号
加入協会:(社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

